

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：おおつな保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：渡部 晶子	定員（利用人数）： 198(199)名	
所在地：〒222-0003 横浜市港北区大曽根 2-33-8		
TEL：045-531-0501	ホームページ： https://www.shoutokukai.jp/facilities/otsuna	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1957年 5月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 聖徳会		
職員数	常勤職員： 39 名	非常勤職員： 5 名
専門職員	園長 1人	看護師（内准看護師）1人（0人）
	主任、副主任 2人	栄養士（内管理栄養士）3人（3人）
	保育士 36人	調理員 1人
施設・設備の概要	（居室数）	
	（設備等）	
	乳児室（0～2歳児室）5室	建物の構造：鉄筋コンクリート造り 3階建て 建物延床面積：945.29㎡ 園庭： 527.66㎡
	幼児室（3～5歳児室）2室	
	沐浴室 1室	
	調理室 1室	
	トイレ 5室	
	事務室 1室	
職員休憩室（更衣室）2室		

名称：おおつな森の保育園 （分園）	種別：認可保育所	
代表者氏名：渡部 晶子	定員（利用人数）： 24(24)名	
所在地：〒223-0057 横浜市港北区新羽町1020-1		
TEL：045-545-0620	ホームページ： https://www.shoutokukai.jp/facilities/otsunam	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2005年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 聖徳会		
職員数	常勤職員： 9 人	非常勤職員： 1 人
専門職員	（専門職の名称）	看護師（内准看護師）人（人）
	園長 1人	
	主任、副主任 1人	栄養士（内管理栄養士）1人
	保育士 4人	調理員 1人
施設・設備の概要	（居室数）	
	（設備等）	
保育室（2～5歳児室）2室	建物の構造：鉄筋コンクリート造り 2階建て	
沐浴室 1室		

調理室	1室	建物延床面積：312.07㎡ 園庭：607㎡
トイレ	2室	
事務室	1室	
職員休憩室（更衣室）	1室	

③ 理念・基本方針

<p>【理念】自分らしく生きる力 未来を創る子どもたちへ私たちが贈りたい大切なもの、それは「自分らしく幸せに生きる力」です。いつの時代にあっても何を大切と思うか、何を表現し何を伝えていく人となるのか、子どもたちが選び決めていく未来は、心に培った強さ・優しさ・美しさが基盤となります。</p> <p>おおつな保育園では、理論に基づいた専門知識と技術を用いてあたたかく人とつながり、心をこめ、ともに考え、身体をつかい、子どもたちが自己も他者も大切に自分の足で人生をつかむ基盤となる力を育みます。</p> <p>【基本方針】</p> <p>「子どもにとって明日も来たいと思う保育園」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせること ・子どもの関心、意欲を最大限に伸ばすこと ・子どもが生きていく中で必要な知識・技能・技術を発達段階に応じて身に着けること ・子どもの人格が保障されること <p>「保護者にとって安心して預けられる保育園」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さまが安心して就労できる環境 ・子育てに役立つ、情報交換・交流の場を提供する ・専門性を生かした情報発信をおこなう ・親子共にさらに幸せな時間になるように援助を行う

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>【立地および施設の概要】</p> <p>おおつな保育園（以下、「本園」とする。）は1954年5月1日開園の社会福祉法人聖徳会が運営する保育園です。東横線綱島駅から徒歩10分の住宅街にあり、周囲に大倉山梅林公園等多くの公園があり、散歩にバリエーションをもたせ、四季折々の自然を感じることができます。0～5歳児の定員198名（在籍199名）、職員数39名にて、産休明け保育、障がい児保育を行っています。</p> <p>おおつな保育園の分園であるおおつな森の保育園（以下「分園」とする。）は2005年4月に開園。市営地下鉄北新横浜駅から徒歩10分の自然豊かな環境に囲まれた住宅街にあり、公園や木々が生い茂る自然の中で子どもたちは伸び伸びと活動しています。2～5歳児の定員24名（在籍24名）で常時異年齢保育を実施、職員数9名にて、障がい児保育を行っています。</p> <p>*以下で、本園・分園それぞれについて記載する事項は「本園」「分園」と表記し、共通する事項については、いずれかと表記しない。</p> <p>【園の特徴】</p> <p>本園の4、5歳児を対象に、クラス単位で隔週ごとにバスで分園に移動し、分園での自然の中での生活を体験する連れ出し型（アウトリーチング）保育を行っています。</p>
--

す。

コロナ対応で保護者参加の行事や保護者参加を兼ねた誕生会は出来ていませんが、連携を深めるべく今年度からICTを導入しています。子どもたちの日常生活や行事の様子を画像を交えて保護者に配信し、また、園内に活動の様子のドキュメンテーション（写真とコメント）を掲示して、保護者の安心と保育園理解を深めています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	西暦2022年4月1日（契約日） ～ 2023年1月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点

1. 子どもたちの自主性を大切にする保育

教材を豊富にそろえ、子どもの「やりたい」気持ちを大切に、保育士は必要なときにさりげなく援助をしています。その経過や結果を保育日誌に記録し、職員会議等で共有しています。遊びについては、いくつかのコーナーを用意し、自発的に遊びを選択し、十分な時間を設けて遊びが広がるように環境を整備しています。衣服の着脱等、職員は子どものしようとする気持ちを受け止め、行動を見守り、さりげなく必要な援助をしています。指先を使う道具、街作りに発展するような素材（道路、ミニカー、家等）を数多く用意し、さらに、園庭や散歩先の公園では植物や木の実、草花、虫等について興味をもって新たな発見や体験をすることで、図鑑で調べ、栽培や飼育に発展するように、職員は一緒に考え行動しています。

2. 職員組織をセクションに分け責任感・意識を高め活動を活性化

園全体のレベルアップとして、職員組織を「保育」「職場環境」「ICT」「給食」のセクションに分け、分野別に必要な複数のリーダーを置き、研修・改善等について検討し実行しています。「保育」の場合、障がい児、ドキュメンテーション、環境、行事、安全危機管理、防災の6分野があります。「職場環境」の場合、シフト、環境改善、新人育成、福利厚生、園内研修の6分野があります。このピラミッド型組織の運用により、各リーダーを中心に責任感・問題意識・早期改善に向けた活発な活動が展開されており、組織全体が活性化しています。

3. 保育士人材育成表作成の検討

職員が自身のこれからを目指す指標として、保育士人材育成表を作成することが期待されます。経験に応じて分野（安全衛生、保育力、保護者対応等）ごとに目標、内容（必要な知識・技術、内部・外部研修等）を明示することにより、保育士個人の今後習得すべき内容を確認できます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して

新型コロナウイルス感染症が流行し、感染拡大予防の観点から保育を考え対応しなければならず変化を強いられて、「保育を安全に行う」ということに集中してしまった日々でした。しかしながら、その中で保育環境の見直しや衛生管理など立ち止まり考え見直す機会ともなりました。

前回の受審時に課題として挙げられた「保育書類の作成・内容の見直し」「園内研修の充実」「マニュアル整備と活用」に関してはICT導入もあり改善出来ていましたが、「地域との連携」についてはコロナ禍で改善できなかった部分でもあるので今後、より積極的に取り組んでいきたいと思えます。

今後の課題としては、保育におけるねらいの設定や行事計画などで「振り返り」を充実させ次に活かせるよう工夫が必要と感じているので、園全体で「話し合い・振り返り」の時間の確保をし、職員間の共有を密にしていきたいと思えます。

今回の受審を通して、保護者の皆さまのご理解の深さと協力して下さるお気持ちに感動し、信頼と期待を裏切ることのないよう職員一同真摯に取り組んでいきたいと思えました。

渡部 晶子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり